

明日も元気で来いよ！

98

運動会 あたたかなご声援を ありがとうございました



曇ごろに雨が落ちて来るかもしれないという天気予報のもと、プログラムの変更も覚悟して運動会が始まりました。

しかし、子どもたちの一生懸命な頑張りが、雨雲を寄せ付けず、時折、真夏を思わせるような日差しにも恵まれ、無事にすべてのプログラム

を終了することができました。

今年度のテーマは、「たくましく 輝け 西天満」。子どもたちは、明るく、楽しそうに、そして力強くすべての演技や競技に取り組みました。その姿は、テーマ通り、私の目にまぶしく輝いて映りました。

開会式でもお話しした通り、来年4月から、校舎の増築工事が始まります。それに伴い、運動場の半分が使用できなくなります。また、工期が2年近くにわたるため、来年度、再来年度の運動会は、天満中学をお借りして実施する予定です。ということは、6年生だけでなく、5年生、4年生にとっても、本校の運動場で行う運動会は、最後となります。平成31年度には、本校の運動場に戻って、運動会を実施できる予定です。しかし、運動場の北側（今の砂場、登り棒、うんていのある所）に校舎が増築されているため、運動場が今より狭くなっています。

そのため、全学年の子どもたちにとって、この広さの運動場で実施する運動会は、今年度で最後となります。

このような思いを胸に、子どもたちは、実によくがんばりました。

2013年4月の読売新聞にこんな詩の一節が紹介されていました。

「誰でも経験があるだろう、運動会で/子供たちが懸命に走っているのをみると/眼がうるむのだ、自分の子でもないのに/ビリの子供の力走には涙が出てくるのだ」（中桐雅夫「母子草」より）（新聞に掲載されたまま紹介しています）

この詩にある通り、子どもたちの真剣なまなざしや、転んでも痛いのを我慢しながら、一番後ろを懸命に走る姿には、心を動かされます。今年も、何度か涙がこぼれそうになりました。

このような感動を味わえたのも、子どもたちのがんばりに加えて、保護者や地域の皆様のご協力、ご支援があったからです。特に前日の準備や当日の後片付けには、本当にたくさんの皆様がお手伝いくださいました。心よりお礼申しあげます。ありがとうございました。

伝統の大綱引き 優勝トロフィーをいただきました



大綱引きは、本校の伝統的な種目です。

子どもたちの紅白対抗だけでなく、大人が菅南地域と西天満地域に分かれて勝敗を競います。今年度も2回戦を実施



し、1勝1敗の引き分けと、大いに盛り上がりました。大人の大綱引きに、林 秀昭様、宮本善樹様より優勝カップを寄贈していただきました。これで、今後もより盛り上がる対戦が続けられます。ありがとうございました。

来賓・PTAの玉入れ 参加賞は「たくましく のびました」

子ども達が毎日 続けている日記



「たくましく のびていこう」も51年間続いている西天満の伝統的な取り組みの一つです。子どもたちが、たくましくのびて大人になった。ということで、来賓・PTA種目である玉入れの参加賞は「たくましく のびました」のノートです。

このノートも、すいぶん前から参加賞として使われています。西天満校下地域や保護者の皆様のユーモアのセンスが光っています。